

GWに一泊移住、修学旅行楽しい日が過ぎていった5月でしたね。

今月は今年度初めての定期テストがあります。いつもより範囲が広いと思いますが、準備は整っていますか？早め早めの対策をしていってくださいね。

元気アップではテスト前の学習会の開催と学習プリントの補充。息抜きのための図書館の新しい企画を準備しましたので、ぜひご活用してください。

期末テスト前自主学習会

期末テスト前自主学習会を開きます。

参加申込書を後日配布しますので担任の先生に提出してください。

***担任の先生のサインがないと参加できません。**

日程は以下の通りです。

6月 13日(金) 16日(月) 図書館

各日放課後から17時までです。

毎回騒がしい人がいます。

他の人の迷惑になるので退室してもらいます。

提出物のワーク等をやるのは良いのですが、0スタートではなく、日々コツコツ進めていくことをお勧めします。

TikToker けんごが紹介する小説を紹介1

けんごさんは、動画アプリ『TikTok』を中心に、小説の読みどころを紹介する『小説紹介クリエイター』です。

1989年刊行の筒井康隆著『残像に口紅を』を彼が紹介すると、動画は930万回以上再生され、同書は増刷を重ね出版業界内外で大きな話題となりました。

桃中図書館でも一昨年新刊として入ってきましたが、その時の私の感想は正直言って「なぜ今、筒井康隆？」でした。今月6月号と来月の7・8月合併号はこのけんごさんが紹介する本を特集していきたいと思います。



この世界から一つずつ文字が消えていく。「あ」が使えなくなると「あなた」や「愛」という言葉が使えなくなる。言葉が使えなくなるだけでなくその存在さえもなくなってしまう。

物や感情を表現するための言葉がどんどん難読になっていくので読むのをあきらめてしまいそうになるかもしれませんが、すべての言葉がなくなった時どうなるかをぜひ感じて欲しいです。

『ぎんなみ商店街の事件簿』井上真偽



同じぎんなみ商店街というところで起こる同じ事件をある Brother 編の四兄弟と Sister 編の三姉妹がそれぞれ解き明かしていくのだけれど、おもしろいことにたどりつく真相がそれぞれ違っている。けんごさんはこの作品を『怪作』と言っています。

どちらから読むか、一冊ずつ読むか交互に読むか。それを選ぶのはあなた次第です。

『むらさきのスカートの女』今村夏子



「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性が気になって仕方がない〈わたし〉は、彼女と「ともだち」になるために自分と同じ職場で彼女が働きだすように誘導し・・・。

私も読みました。とっても読みやすい。と言うより、気になって一気に読み。がしかし、最後には得体のしれないゾワゾワ感が残ります。けんごさんは『怖くないのに不気味で寒気がする』と紹介しています。

あなたもこの読後感を味わってみてください。

『アルジャーノンに花束を』ダニエル・キイス



32歳で幼児の知能しかないパン屋の店員チャーリーは、ある日ネズミのアルジャーノンと同じ画期的な脳外科手術を受ければ頭がよくなると告げられる。手術を受けたチャーリーは、超天才に変貌していくが・・・。人生のさまざまな問題と喜怒哀楽を繊細に描き、全世界が涙した現代の聖書。

けんごさんは『何度読んでも涙する』と紹介しています。

ひらがなののに誤字だらけで始まります。この理由わかるかな？

『恋とか愛とかやさしなら』一穂ミチ



カメラマンの新夏（にいか）は啓久（ひらく）と交際5年。東京駅の前でプロポーズしてくれた翌日、啓久が通勤中に女子高生を盗撮したことで、二人の関係は一変する。「二度としない」と誓う啓久とやり直せるか、葛藤する新夏。啓久が“出来心”で犯した罪は周囲の人々を巻き込み、思わぬ波紋を巻き起こしていく。

信じるとは、許すとは、愛するとは。

けんごさんは『生涯この本を忘れることはありません』と言っています。2024年本屋大賞7位に入った本です。

来月の7・8月合併号はけんごさんが紹介する本の“帯”に注目して本を紹介していこうと思います。意外と知らない本の帯。帯の説明や役割の話から、そこに書かれているその本の魅力をけんごさんの言葉も借りながら紹介していきたいと思います。

来月の通信を参考にして夏休みにたくさん本を読んでほしいと思います。